

「新しい東北」先導モデル事業の公募について (地域資源版)



「新しい東北」の創造と復興に向け、地域の様々な資源を活用した先進的なビジネスモデルの構築を支援します。

① 復興の中で、地域ぐるみでの地域資源の活用を手厚く支援

「新しい東北」先導モデル事業(地域資源の活用)

- ・「価値共創ビジネス」(※)の推進に向け、地域ぐるみでの先進的な地域資源活用の取組に対し、その立ち上がり段階に要する様々な経費を支援。
(※)生産者が消費者との相互交流の中で新しい商品価値を共に創造していくビジネスモデル

② 地域資源活用の取組の立ち上がり段階に要する様々な経費を支援

地域資源(農林水産物、地形、気候、景観、技術・技能等)を活用した、農業、観光業、ものづくり等の価値共創ビジネスに関する取組のうち、立ち上がり段階に要する様々な経費を支援(施設整備は対象外)。

① 地域資源を見つける

(例) 地域資源の活用の検討のための専門家の招致、地域における活用計画の策定のための検討会



観光資源
(浄土ヶ浜)

② 地域資源を磨く

(例) 地域資源を活用した新商品の開発に必要な機材等のリース



郷土料理
(ホヤ雑煮)

③ 地域資源を使う

(例) 地域資源活用のための協議会の設置・運営、
新商品のマーケティング、販売戦略の検討のための専門家の利用



(新商品開発)

〔・事業主体の自己負担分とあわせ、取組を実施。〕

③ 産業の枠にとらわれない様々な取組が対象

○ 支援例

〔農業〕

- ・地域の農産物のブランド化のため、新品種の開発・既存品種の活用、味や成分を数値化するための検査機器のリース、売込のためのマーケティング専門家の利用



ブランド野菜



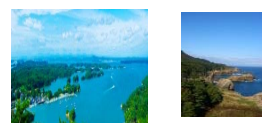
マーケティング
専門家の活用



味や成分等の検査

〔観光業〕

- ・東北地方に存在する豊かな観光資源を最大限に活用するため、地域の観光資源を掘り出し、磨き上げ、その地域のスポークスマンとなり、その価値を世界に向けて発信し、地域のブランディングの担い手となる主体による検討会の開催、専門家の利用 等



観光資源の活用

〔ものづくり〕

- ・個々の強みとなる技術を持つ地域企業が協議会を組織し、新事業展開や新製品開発などを目指すために必要な、マーケティング、専門家の利用、機器のリース、展示会出展 等



新事業展開・新製品開発・技能の応用等をサポート

専門家の活用

機器のリース

〔自然環境の活用〕

- ・地域の自然環境を活用した滞在型・体験型メニューの開発や観光利用者の受け入れ体制の構築に必要な、専門家の利用、マーケット調査（モデルツアー等）、立ち上がり段階の宣伝（パンフレット作成等） 等



自然環境の活用

④ 地域内外から構成される多様な事業者に対応

○事業実施主体

復興の加速化に取り組む者であって、以下のいずれかに該当する法人・団体であれば応募することができます。

- ①NPO等の法人
- ②事業者等の組織する団体
- ③地方公共団体を構成員に含む団体

○申請の手続

復興庁総合政策班へ申請書を提出

提出先：〒107-0052 東京都港区赤坂一丁目9番13号 三会堂ビル6階 復興庁総合政策班 原田・砂場
持参又は郵送により、応募書類12部及び電子媒体（CD-R又はDVD-R）1部を提出して下さい。

○公募期間

平成25年8月1日（木）～平成25年8月21日（水）

問い合わせ先

復興庁 「新しい東北」地域資源グループ 神谷、秋山(03-5545-7365)

日本経済研究所 〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル3階

株式会社日本経済研究所 調査本部 政策調査部 川島・河野瀬・中村

E-Mail newtohoku@jeri.co.jp TEL 03-6214-4614 FAX 03-6214-4602

復興庁HP <http://www.reconstruction.go.jp/>